

8. 産婦人科

A 内容

1 外来研修

- 1) 初診患者の問診をとる
- 2) 妊娠初期の診断を行う
- 3) 内診・超音波検査にて下腹部腫瘍の鑑別を行う
- 4) 子宮癌検査(頸部・体部)を行う
- 5) 妊婦健診を行う
- 6) 不妊症に関する検査を行う

2 病棟研修

- 1) 婦人科手術において手術助手をする
- 2) 手術患者の術後経過を回診等を通じて理解する
- 3) 自然分娩における分娩介助に参加し、正常分娩経過を理解する
- 4) 産科手術の助手を行い、上級医より指導を受ける

B 目標

1 産婦人科疾患

- ・産婦人科特有の疾患における診断・治療の技術を身につける

- 1) 妊娠、分娩および産褥の疾患について
(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産褥異常等)
- 2) 女性生殖器およびその関連疾患について
(骨盤内腫瘍、骨盤内感染症、不妊症、更年期等)

2 産科領域の救急

- ・妊娠、分娩に関連した救急患者において、専門の産科医に移管する時期を的確に判断し、その間の応急処置を行える技術を身につける
- 1) 産科救急疾患の診断に必要な情報を聴取、記録しその意義を理解する
 - 2) 触診、超音波検査、血液検査等を行い、その結果の意義を理解する
 - 3) 性器出血など症状に対する応急処置を行う

3 婦人科領域の救急

- ・婦人科疾患に関連した救急患者において、専門の婦人科医に移管する時期を的確に判断し、その間の応急処置を行える技術を身につける
- 1) 婦人科救急疾患の診断に必要な情報を聴取、記録しその意義を理解する

- 2) 触診、CT検査、XP検査、血液検査等を行い、その結果の意義を理解する
- 3) 性器出血、下腹部痛など症状に対する応急処置を行う

学習方略(LS)

① 外来部門

- 1) 指導医のもと、初診患者の問診、診察(双合診)、超音波検査、血液検査オーダー等を行いその結果より、治療方針および診療計画を立てる
- 2) 妊婦健診を行い、超音波検査により胎児計測法を習得する

② 病棟部門

- 1) 入院患者の副主治医として診察、治療を行う
- 2) 手術患者において助手として手術に参加し、術後管理を学び、退院までの経過を理解する
- 3) 自然分娩の経過を観察し、指導医と共に分娩に立ち会う
- 4) 症例カンファレンス等に参加し、治療方針・治療内容の理解を深める

EV(研修評価)

1. 自己評価:PG-EPOCにて当科研修における各評価項目を自己評価する。PG-EPOCに経験した症候、疾病・病態を入力する。
2. 指導医による評価:指導医はPG-EPOCにて研修のフィードバックをしながら評価を行う。
3. メディカルスタッフ等による評価:指導者は依頼を受けた者よりPG-EPOCに入力してもらう。
4. ローテート科への評価:PG-EPOC内のローテート科の評価を入力する。
5. 指導医への評価:PG-EPOC内の指導医等の評価を入力する。
6. 退院サマリー及び外来サマリーの評価:各自で入力したサマリーを上級医が評価し、フィードバックしてもらう。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	外来	外来	外来	外来
午後	手術	手術	手術	手術	手術
夕方				小児科と周産期 カンファ(隔週)	